

Fuwa

あなたの暮らしに、新しい風

TAKE
FREE

FUKUYA LIFESTYLE MAGAZINE



vol.9

“やっぱり平屋”

だれにとってもやさしい、普遍的な暮らし。

豊かな自然とともにある

平屋の暮らし

家族のいまを大切にしたい

平屋の良さについて尋ねると「家族が自然とリビングに集うところですね」と、ご夫婦はうれしそうに答えてくれた。下は6歳から、上は16歳の4人のお子さんのいる戸田さんご家族は、この日も仲良くリビングに集っていた。日当たりのよい南向きの畳スペースにはこたつが置かれ、子どもたちはカルタ遊びを楽しんでいた。

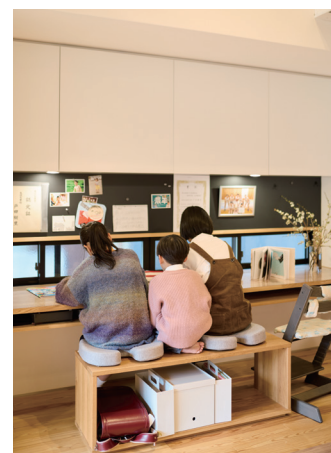


ふだん勉強や宿題をするときも、リビング脇のカウンターに姉弟並んでリビング学習をすることが多く、家事をしながら学習を見守ることが出来て助かっているという。また、子どもたちがお互いに教え合う姿もよくみられるそうだ。

市内から遠く離れた土地柄、子どもたちが巣立つのも早いそうで、昨年すでに長男は進学で家をでたという。リビングのマグネット壁にびっしりと貼られた写真や表彰状、プリント類からは、永遠ではない子どもたちとのあっという間の時間をできるだけ長く一緒に大切に過ごしたい。そんなご夫婦のあたたかい想いを感じられた。

季節のうつろいを身近に感じながら

山間にあるこの場所では、冬は雪がよく積もる。沢山積もった日は、子どもたちは喜んで外に出て遊ぶのだとか。奥様は、そんな様子をキッチンから眺める時間が好きだという。



1.あえて廊下を設けることで、家族間のプライバシーも尊重し合える間取りに。(廊下を挟んで南・寝室／北・子供部屋)
2.のびやかな勾配天井のリビング。勾配天井は、ラワンベニアで仕上げている。3.寝室の一角に設けたデスクスペースで、奥様は趣味の洋裁や編み物を楽しんでいる。

南側の大きなリビング窓から見えるのは田、山、空。四季の変化や天候の移り変わりなど、刻々と変わる景色を切り取っている。

目の前の田んぼは、隣に住むご主人の両親が所有するものだそうで、夏から秋にかけてはお米作りもしているという。子どもたちは毎年田植えや稲刈りを一緒に体験させてもらっているそうで、環境を活かしたのびのびとした子育ては、まさに理想的。優しく穏やかな子どもたちからも、祖父母とのよい関係性がうかがえる。

何気ない日々を楽しむ工夫

プライベートな空間をつくりづらいと言われる平屋ですが、戸田さんの住む平屋は間取りの工夫で、玄関を中心にLDKとプライベート空間をしっかりと分離。子ども部屋には、ロフトスペースも設けてある。そして、ちょっとした遊び心のあるデザインまで。寝室の一角に構えられた奥様の趣味用デスクの前には廊下に繋がる小窓が。プライベートな空間でありながら家族の

気配をかんじられる仕掛けがされている。奥様が編み物をしていると、可愛らしい次男くんがひょっこりと顔をのぞかせた。



普遍的な魅力を持つ平屋の暮らしに、じぶんたちらしいほんの少しの遊び心も忘れない。ご夫婦は、自然とともにある豊かな環境を活かし、おらかな気持ちで子育てと、日々の暮らしを楽しんでいた。



戸田様邸

家族構成：家族6人
竣工年：2021年4月
構造：木造平屋建て
延床面積：34.0坪

「いまもこれからも、 ずっと心地いい平屋の暮らし」

「Fuu」編集・ライティングを担当するわたくし石川の自邸も平屋。建築時は営業課に在籍しており、仕事柄様々な年齢層のお客さまのお家づくりに携わるなかで、自然と“平屋”に惹かれていました。終の棲家のようなイメージのある平屋ですが、子育て中にもいいことづくし。住み始めて5年が経ち「やっぱり平屋にして良かった」としみじみ感じています。

風や光を身近に 感じられる

構造上、二階建てと比較して大きな窓や大空間を取りやすいため、明るく開放的な空間が生まれやすい。地面とも近いので、季節のよい時期には、窓を開ければ家中どこにいても常に気持ちの良い風や光を感じることができます。



Point 1



家事動線がとにかく スムーズ

キッチンから洗面、トイレ、お風呂と水廻りがすべて隣接しているため、家事動線がとにかくスムーズ。さらに脱衣所兼ランドリールームとWICを繋げたことで、日々の洗濯や収納の負担も少なく済んでいます。平屋は縦の移動が少なく、各部屋の距離が近いので、ぐるぐる回遊できる動線が作りやすいのが特徴です。

間取り図



石川邸

家族構成 | ご家族4人 / 施工年 | 2020年4月 / 延床面積 | 29.02坪 / 構造 | 木造平屋建て

Point 4

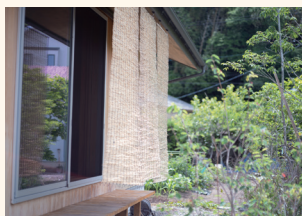


子育ても将来も、あんしんできる

階段がなく段差の少ない平屋の間取りは、子育ても将来もあんしん。子育て中の今は特に、どの部屋も近く目や声が届くことが、あんしんに繋がっています。同時に、完全なプライバシーを確保することは難しいのですが、家族みんなが自然とリビング集う住まいも「いいものだなあ」と思います。

飽きのこない和のデザインが よく馴染む

平屋は、縁側や障子・畳などの飽きのこない和のデザインがよく馴染みます。和の感じられる空間は、どこか昔懐かしい雰囲気であつと心を癒してくれるだけでなく、機能性も高く、改めて日本の風土に適した“和のある暮らし”の魅力を感じています。



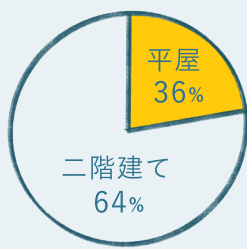
Point 2

営業スタッフに
聞いた

フクヤの平屋 Q & A

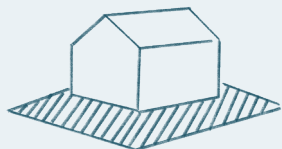


Q1 新築住宅の平屋の割合は
どのくらい？



A 年によって多少のバラつきはありますが、当社では平均して36%ほど。3棟に1棟くらいの割合です。全国平均は11%ほどであるのに対し、かなり高い割合で受注しているのは、当社のシンプルな建築デザインと平屋の親和性が高いからなのではと考えています。

Q2 平屋を建てるのに
必要な土地の広さは？



建ぺい率60%の場合
60坪以上

A 30坪前後の平屋を建てる場合、60%の建ぺい率であれば、駐車場スペースも考えると60坪以上の土地が必要になります。家族4人で暮らす平屋を建てる場合は、60~75坪程度の土地を目安に検討することをおすすめします。

※建ぺい率とは、敷地面積に対する建築面積の割合のこと。

Q3 平屋を選択する若い世代が
増えている？



家族との
コミュニケーションも
とりやすい！

A 若い世代(20~39歳)で平屋を選択するお客さまの割合は年々増えてきています。以前は50代以上が半数を占めていたのに対し、今では反対に若い世代の割合が半数を占め、もっとも高くなってきています。家事や子育てのしやすい効率的でコンパクトな平屋の暮らしが、若い世代の価値観に合っているのだと感じています。

平屋は災害からの 安全性にも優れてる？

01 耐震等級3が
とりやすい

シンプルな構造で高さがないので耐震等級3をとりやすく、地震時の倒壊のリスクも抑えられる。

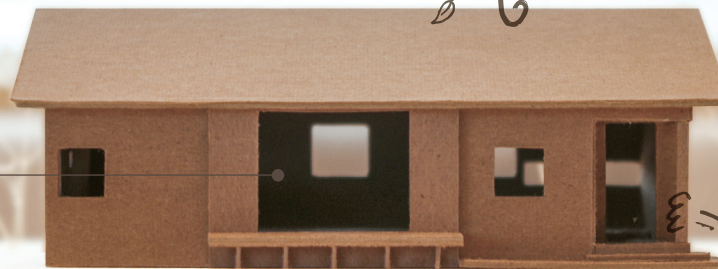
02 非常時に外に
でやすい

二階がないため、高齢のかたもすぐに避難することができます。また、家族の避難行動がばらばらになるリスクも防ぐことができます。

03

風圧による揺れが少ない

二階建てと比べ、横からの風圧を受ける面積が少なく、済むので台風の影響を受けにくくなります。



しかし…河川の氾濫などの場合は二階への避難ができません。平屋を検討する際は、土地購入前にその地域の災害リスクを防災マップなどでしっかり確認するようにしましょう。

本社2階社食ランチが食べられるカフェ

CAFE FLAG

@bistrocafe_flag



吾川郡いの町にあるカフェ・ドッグラン

COCAGE Villa FUKUYA

@cocagevillafukuya



Next Issue

3月29日 発行

vol.10

フクヤスタッフの自邸

【発行元】

フクヤ建設株式会社

〒781-0015

高知市薊野西町3-35-29

☎ 088-845-4618

✉ fukuya@fukuya-h.co.jp

📱 @fukuya.kochi